

地域連携推進会議とは、施設と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参加する会議であり、令和7年度より、おおむね1年に1回以上の開催が義務付けられたものです。

(目的)

- ① 利用者と地域との関係づくり
- ② 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ③ 施設やサービスの透明性・質の確保
- ④ 利用者の権利擁護

地域連携推進会議録

令和8年2月4日(水) 14時～14時45分

出席者：地域・福祉(A様)、市町村(B様)

家族(C様)、利用者(D様、E様)、法人(泉ヶ丘園 赤井)

施設(泉ヶ丘療護園 向井、阪田、林)

欠席者：家族(F様 体調不良)

1. 開会挨拶(向井)以降の進行も行う。
2. 参加者紹介：上記出席者を順番に紹介し、欠席者についても伝える。
3. 会議の流れを紹介：本日の次第に沿って流れを紹介する。合わせて地域連携推進会議の目的を再確認する。
4. 障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業について説明する(担当者向井)

事業説明：厚生労働省管轄の国庫補助事業を受け、大阪府(都道府県)が実施主体となり行われている。

事業の目的：障害福祉現場の職員の介護業務の負担軽減、労働環境の改善、業務負担の効率化を図り、働きやすい職場環境の整備や安心・安全な障害福祉サービスの提供等を推進するため、障害福祉事業者が介護ロボットやICTを導入する際の経費等を支援することとなっている。

募集要項：本来は5月に募集がありましたが、締め切りまで2週間程度と短く、準備不足で残念していました。今年度については、5月の応募が少なかったようで、8月に第2回目の募集があり、事前に業者と相談していたこともあり、締め切りまでに応募することができました。この事業の補助率は、国が1/2、都道府県が1/4、事業所負担が1/4で基準額が障がい者支援施設で210万円となっています。

手続きの流れ：8/23 大阪府へ事前協議の申請を行う。11/17 大阪府より補助金の対象となった旨連絡あり。11/12 大阪府へ交付申請を行う。12/12 大阪府より交付決定通知が届く。

12/15 注文書を業者に送る。12/23 業者より納品される。

今回の購入に先駆け、7月と10月の2回、業者に依頼し研修会を開催し、それぞれ1週間ほどデモ機をお借りして多くの職員に体験する機会を頂いたことを紹介する。

導入機器の紹介：株式会社「いうら」の移動式リフト EL-610 とハイバックスリングシートです。（カタログの写しを配布）補助金事業のため交付後の報告とホームページでの公表の準備を行っています。

機器の使用説明：会議室に移動式リフトを持ち込み、職員2名で実演をしました。

「乗っている方は痛くないのか」という質問があり。乗っている人は、安心して安全に移乗できること、職員の負担も軽減できることを伝える。利用者から「便利で良い」、参加者からも「お尻を上げずに乗れるのが良い」や、「今まで無かったのが何故と思ってしまう程良いと思う」という感想を頂きました。

5. 令和7年度の職員研修について説明する（担当者阪田）

内部研修について：令和7年度職員研修計画書に沿って説明する。

外部研修について：令和7年度に受講した外部研修について一覧表に沿って説明する。

大阪府高次脳機能障がい支援者養成研修については、応募しましたが受講がかなわなかったことを報告する。

外部研修で受講したアンガーマネジメントについて、資料を配布し内容を紹介しました。

6. BCP（事業継続計画）について説明する（担当者向井）

BCPについては、令和6年4月より義務化され、昨今頻発している自然災害や感染症の流行に備え、万が一災害や感染症が発生した場合でも、継続して利用されている方々の生活が継続できることを目指している。自然災害発生時における業務継続計画の一部を資料として配布し説明する。リスクの把握としてインターネットでハザードマップのポータルサイトで住所を打ち込み検索すると、施設所在地は被害の危険性が想定される場所ではないと表示されていること、付近に山や大きな河川、海などもなく泉佐野市のハザードマップにおいても、浸水や津波などの二次被害も想定されていないので、施設の立地としては非常に良い場所だと思いを紹介する。備蓄品リストに沿って内容を説明、御飯の非常食として備えているものについて現物を紹介、昨年の9月に訓練もかねて職員の給食として試食したことを紹介する。合わせて災害発生時には、地域の被災者にも支援ができるよう、福祉避難所として泉佐野市に登録していることを説明する。

7. その他として、質問や意見、次回内容のリクエストなどを伺う。

○平成30年の台風21号の被害状況はどうでしたか。

施設の瓦が1枚飛んだり、トタン屋根がめくり上がったという建物被害が多少あった程度でした。

○市内でもあちらこちらで電柱が倒れ、商店街も大変な被害があった。地域によっては、

長く停電が続き大変でしたがどうでしたか。

施設では停電もなく生活には何も影響がありませんでした。

○最近雨が降らず、水不足について心配ですがこの辺りはどうですか。

今までに断水などの事例はなく、特に施設では、大きな貯水槽があり、すぐに水が使えることはありません。

今回の開催について、令和8年7月ごろを予定していることを伝え閉会する。